
無情になりたくて

深皇玖 楸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無情になりたくて

【Nコード】

N1992D

【作者名】

深皇玖 楸

【あらすじ】

貴方と私、消えゆく命への接し方。それは恋から愛へと変わるきっかけでした。

（前書き）

書いといてなんですが、この詩は別の物語を書いているときに登場させてしまった小説（架空）の原案みたいなものです。いつか書く日が来るかもしれません。

静かな昼下がりの病室、貴方は消えゆく命
貴方は最期まで笑う
貴方は幸福を感じ続けて逝ける
それが私の幸せ

でもそれは、私の不幸でもあるのだと、貴方は判ってくれない

無情になりたい
そうすれば私は悲しむことはない
貴方は私の大切な人ではなくなるのだから
ただ、知り合いを亡くしただけになる

貴方はそれを、望むだろうか
全ては私のエゴ
総ては私の勝手

無情になればいい
私がどんなに好きでも、貴方と私は共には生きられない
残される辛さを感じたくない
きっと私は哀しみに囚われたまま、身動きもできなくなる
だから、そんな気持ちも感じることはないように、無情になりたい
そうすれば、貴方を好きな気持ちも、貴方との思い出も、貴方の
存在でさえ、いつの日か忘れられる日が来る

貴方は、笑い続ける
だったらせめて、笑って逝かせてあげよう

無情になりたくて、なれないのならば、貴方との思い出が、少しでも暖かく、優しく、そして深く、鮮やかに残るように

涙で、滲むことがないように、私も笑おう

貴方の命の消える、その瞬間まで

静かな昼下がりの病室、私は今日も貴方にくちづけを落とす

貴方は笑って受け止めて、今日も囁く

死んでも忘れたりなんてできないから、もっと笑って。
そして死んだら、僕のことは忘れて、次の幸福を探して

と

貴方は気付いているのだろうか

貴方といわれることほど、幸福なことはないのだと
でも私は悔しいから、

じゃあ死なないで

と言ってしまう

貴方は笑って今日も、

無情になって

と言う

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1992d/>

無情になりたくて

2010年10月14日11時06分発行